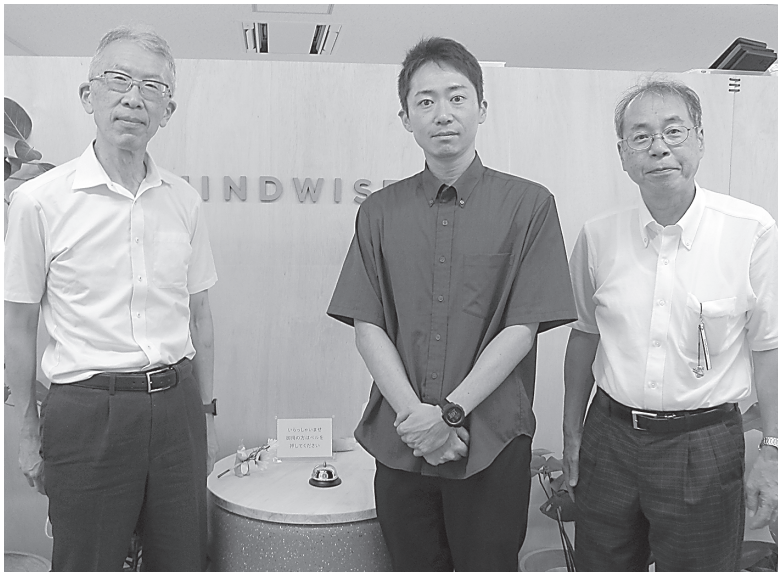


スマホケースを950種そろえて全機種に対応。
 今後は顧客の声に応えながら革製品も開発していく



左から吉村氏、西崎氏、稲次氏

㈱マインドワイズ 代表取締役

西崎雅弘氏

NPO法人日本皮革技術協会 理事長

吉村圭司氏

NPO法人日本皮革技術協会 副理事長

稲次俊敬氏

吉村 皆様こんにちは。今月号の座談会は㈱マインドワイズ社長の西崎雅弘様をゲストにお招きしました。マインドワイズ様はスマホケースなどの製造販売に特化して業績を伸ばしておられます。この座談会は年間に10カ所ほどを訪ねてお話を聞きましてほぼ7年になります。スマホのケースという

のは初めてです。

31歳で独立。思いのほか競争は厳しかったが…

吉村 西崎さんは大変若い社長さんです。年齢をお聞きしてもよろしいですか？

西崎 38歳です。

吉村 ご創業はいつですか？

西崎 2016年、31歳の時です。前職は㈱リクルートで営業をしていました。リクルートを退職した人はコンサルタントやIT関係などの会社を立ち上げる方も多いようですが、私は新規産業で成長している分野で事業を始めたいという気持ちがありました。競争が激しい業界とか、利益率が



西崎氏

きちんとある業界とか、いろいろ条件を調べて、おもしろそうだなと思ったのがスマホケースでした。

吉村 その当時、スマホのケースはまだ少なかったでしょう。

西崎 アップルから 아이폰のスマホが始めたところで、ケースは 아이폰用だけでしたね。シャープ、ソニーの新機種も出ていました。マーケットは小さいですが、利用者が増えているし、これなら競合も少ないので、やり次第で勝てるのではないだろうかと思いました。

しかし、いざ始めて見ると、 아이폰以外のケースが一気に増え始めました。そのほとんどが中国製です。価格競争が激しく利益率も良くないので、大変な業界に入って来てしまったな、と痛感しました。

稲次 スマホケースというのはどのように分類されるのですか。

西崎 大別するとスマホの裏側をカバーする背面ケースと、両面を挟む手帳型ケースの2種類があります。

稲次 国産ですか？

西崎 当社の場合、中国と国産の両方で、革製のケースは国産です。

稲次 全機種のケースがそろっているとか。

西崎 いま950種類ほどあります。正確に言えば「ほぼ全機種対応可能」ですね。他社がやらない、やれない「生き残る道」という感じでやって来た結果です。

昔からの機種はほとんどそろえているので、いま種類は大変な数になっています。私は大学ではシステムとかエンジニアを専攻していました。その関係で、学生時代の知人から生産管理のアドバイザーを頂きました。

また、大学の一人は、うちの社内で独自のシステムを作ってくれていました。それで煩雑なことをシステムで解決しています。

稲次 管理上、どうということがポイントになりますか。

西崎 在庫が増えすぎると資金が続かなくなってしまう。すぐには要らない品番の在庫を減らし、いま必要な品番の在庫が切れないようにすることです。

例えば 아이폰の新しい機種が出て、ドコモとか au の古い機種を安く売ります。みたいなことが起きると、新機種よりも古い機種が売れたりすることがあるのです。いま必要な商品の在庫が少ないと困ります。

その辺を勘ではなく、システムで少し売れ始めた時点で大きく発注するか、逆に売れない機種



ほぼ全機種に対応する。色展開も豊富



背面ケース（上）と手帳型ケース

は制御しています。それでもすごく大変なのですが、システムのお陰でだんだん楽にはなってきました。創業当時、煩雑なことばかりやってきたので、いまは贅肉が取れて筋肉がついてきたと実感しています。

稲次 競争相手はどこになりますか？

西崎 アイフォンでの競合だと、上場企業とかすごく大きな会社が競争相手になりますが、全機種対応となると、限られてくると思います。

スマホは毎日、一番多く触っている持ち物になった

吉村 スマホの持ち方も変わってきているようですね。

西崎 最近はショルダー型が増えています。若いお母さんでも財布を持たずにスマホにカードを付けて、バッグ代わりに持ち歩く方が増えてきました。

吉村 「カバラリ（COVERARY）」というブランドで展開されていますね。

西崎 スマホの「カバー」が「ライブラリー（図書館、LIBRARY）」のようにそろっているという意味です。

稲次 革製の手帳型もそろっています。

西崎 革製はいいものを長く使いたい人に喜ばれます。スマホは持ちものの中で、毎日一番多く手で触っていると言われています。いまは財布よりもずつと多く触っているでしょう。

稲次 革は、御社の近くにある（株）ニッピ・フジタさんのつながりが多いようですね。

西崎 革製を取り扱うようになってからは、ずつとニッピ・フジタさんにお世話になっています。

吉村 商品開発はどのようにされていますか。

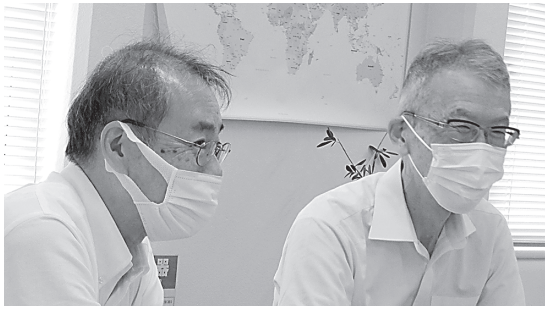
西崎 お客様に意見を伺うこともありますし、競合他社が扱い始めてニーズに気づくこともありま。革製については、最初は何も知らなくて、恥ずかしながら、牛革が半裁の形状で流通しているなんていう知識すらなかったのです。

吉村 革は食肉処理で出た廃棄物を有効利用したサステナブルな素材です。

西崎 そうですね。いま百貨店などからお声がけ頂いて、期間限定ショップなどリアル売場で販売していますが、百貨店やショッピングセンターは「環境に優しい」とか「サステナブル」とか、その辺



フロアの奥に在庫を機種ごとに保管



左から稲次氏、吉村氏

はずごく気にされていますね。
ただ、若干、皮を取るために動物を殺していると思っている方もいます。

吉村 そうなのです。革が悪者みたいになってるので困っています。皮産連（ひさんれん、一般社団法人日本皮革業連合会）の調査では、若い人たちの7割ぐらいが、そのように誤解しています。

稲次 皮革産業は環境にすごく貢献しています。食肉処理して残った皮を仮に廃棄して埋め立てたり、焼却すれば膨大なエネルギーを消費しますし、埋め立てしようとするとなかなか必要になるし、環境汚染にもなります。

西崎 全くその通りだと思います。先日、海外のデザイナーさんとコラボすることがあったのですが、フランスやイタリアでは革の職人さんやタンナーさんはすごく尊敬されているんですね。動物の命を大事にして、長く使える革や革製品を作る大事な仕事をしているということでしょう。コラボで関わらせていただいているのはうれしいことです。

社員がやりたいことを尊重し、ワンフロアで働く

稲次 御社は、いま従業員は何人ぐらいおられますか。

西崎 70人ほどいます。

稲次 御社に伺うたびにどんどん増えているようで驚きます。

西崎 ありがたいことです。

稲次 現状で人手は足りているのですか。

西崎 随時、募集させていただいています。

吉村 求人では特定の業種・職種を募集していないとか。ユニークですね。

西崎 創業からずっとその流れでやってきました。従業員のほうから、私はこういう仕事をしたいと言ってこられます。やりたいことを尊重しています。社名にもその考えを込めています。「マインド」は「想い」、「ワイズ」は「そのま

まに」ということです。

吉村 ワンフロアにたくさんの方が働いておられますが、作る人と企画する人は分かれていますか。

西崎 部署ごとに分かれて、全員がここで働いています。この辺（大阪市・南堀江）で、広いスペースをワンフロアで確保するのはかなり難しく、3フロアくらいのところを借りれば家賃も安くなりそうですね。ですが、作る部門・企画する部門・売る部門を一緒にしていないと、よその部署が何をやっているのか分からないし、お互いの良さも認識できません。

吉村 企画はどのように決めているのですか。

西崎 2つあります。一つはお客さんの声を反映する。もう一つは競合商品を見て流れを見つけないかというように。

最近、スマホの使われ方がだいぶ変わってきています。3年前だとバッグも財布もスマホも持っていませんでした。ところがバッグにどきつとものを入れたらスマホが見つ



70名ほどがワンフロアで働く

からないという不便さがある、といった声には迅速に対応しています。

稲次 海外製品との差別化はどうしていますか。

西崎 これが難しいのです。昔は、中国製は安かろう、悪かろうというイメージでした。いまは中国製でも品質にすぐくこだわっているものがあります。この値段でこの品質でできるのかと驚くこともあります。実際にメーカーに伺って見せてもらって、勉強しています。そういうもの作りがこちらで出来たら、国産のポジションがさらに高くなるでしょう。中国の方の回転とか生き抜く知恵みたいなところはさすがにスゴイと思います。そのノウハウを日本に持つてきて、日本人の愚直さと手仕事の良さを加味すれば、競争に勝てるのではないかと思っています。中国から教えてもらうことは常に考えていますね。

稲次 スマホ以外で、何か考えていますか？

西崎 まずはスマホのケースをしつかりと拡大していくことを考えています。

その他にもお客様の声に応えながら様々な革製品に展開を広げていければ、理想だと思っています。

革素材そのものに、他にはないブランド力がある

西崎 逆にちよつと教えていただきたいのですが、革素材って丈夫さとか見た目の良さがあると思うんですけど、それ以外に革自体に「ブランド力」みたいなものがあるように思うのですがどうですか。

稲次 全くおつしやる通りだと思っています。最近では、革本来の良さに加えて、なめし技術の進歩で、付加価値がさらに上がっています。

吉村 最近、ビーガンレザーとかアップルレザー、ウッドレザーとか、みんな「レザー」を付けて、さも新しい素材のように宣伝していますが、結局のところ、革素材に魅力があるから、それにあやか

つて付けているのだと思います。

西崎 革は牛など動物の皮を使って作る素材。合皮とか石油由来のものではなく、一から手間暇かけて作ったものだから価値があるのでしょうね。

吉村 動物に触れ合うつて犬でも猫でも気持ちいいですね。それと同じことが革にもあるのだと思います。大昔から人間にはそういうことがDNAに刻まれているのではないですかね。

稲次 ここで日本エコレザーについて紹介させて下さい。エコレザーというのは一種の革の健康診断なのです。我々でも年に1回、健康診断をしますね。結果が良けれ



会社概要

社名：株式会社マインドワイズ
MINDWISE Inc.

設立：2016年

代表：代表取締役 西崎雅弘

従業員：70名

事業：スマホケースなどの製造販売

所在地：〒550-0015 大阪市西区南堀江1-4-19 なんばスミソウビル5F

TEL06—6585—9525：

E-mail：info@mindwise.co.jp

ば安心します。

日本エコレザーはそれと同じです。検査して「日本エコレザーの6条件」にパスした革は安全・安心の革として、認定番号とロゴを付けて販売してもらおう。1つの付加価値になるのです。これを前面に出すと、認定を取っていない他の革はどうかとか言う人が出てくるので、認定のタグをさりげなく革製品に付けておくといいと思います。すると消費者が認定タグを見て、そうか安心・安全な革を使っているのかということになります。このマークって何？ という問い合わせも来ます。

西崎 さりげなくアピールするというのはおもしろいですね。

稲次 いま、おそらくエコレザーのスマホケースって無いと思います。仕入れ先のニッピ・フジタさんには、エコレザーの認定を取った革もあります。それを採用されたらどうですか。

吉村

先ほど西崎さんが

話されたように、スマホは1日中、触っているものなので安全性は非常に重要になります。

稲次 発がん性染料を一切使っていないことの証明も一つの大きなポイントです。日本エコレザーは代表的な有害化学物質をすべて検査するという、グローバルスタンダードです。世界が認める基準を設定しています。臭いがきつい革も認定が取れません。ですから、販売店も安心して扱えます。

西崎 クロム鞣しとタンニン鞣し

日本エコレザーの6条件

- ①天然皮革である
- ②発がん性染料を使用していない
- ③有害化学物質を検査している
(ホルムアルデヒド、重金属、PCP、禁止アゾ染料)
- ④臭気が基準値を満たしている
- ⑤適切に管理された工場で作られている
(排水、廃棄物が適正に管理された工場で製造)
- ⑥染色摩擦堅ろう度が基準値以上

日本エコレザーのロゴが変わります

従来ロゴ

新ロゴ



Japan Eco Leather

(従来ロゴも当分の間、併用してご使用いただけます)

のどつちが認定を取りやすいとかはあるのですか？

稲次 クロム鞣しも基準をクリアすれば、全く問題なく認定が取れます。

西崎 これから新たなレザーの新品を展開することになっていきますので、その時に相談させていただけたらと思います。

稲次 いつでも気軽に声がけ下さい。認定取得のためのサポートをさせていただきます。

「日本エコレザー座談会・対談」は
www.japan-ecoleather.jp の項でご覧いただけます